

自律型無人探査機（AUV）官民プラットフォームの設置について

令和 5 年 5 月 24 日

内閣府総合海洋政策推進事務局

1. 趣旨、目的

自律型無人探査機（AUV）は、洋上風力発電をはじめとする海域利活用における省人化や海の可視化等を可能とする高いポテンシャルがある技術として、その国産化・産業化が期待されている。第 4 期海洋基本計画（令和 5 年 4 月 28 日閣議決定）においても、AUV 等について早期の社会実装に向けた戦略を策定、実行していくとの記載がなされており、AUV に取り組む我が国の企業、大学・公的機関、関係府省等が連携し、現状の正確な把握と俯瞰的な視点から戦略策定を進めていく必要がある。そこで、AUV の社会実装に向けた交流や様々な情報共有を促進するとともに、戦略策定に向けた将来ビジョンやロードマップ等について検討するための官民プラットフォームを設立する。

2. 実施内容、体制

本プラットフォームは、AUV の製造、要素技術開発、運用、利用に関連する企業、大学・公的機関、関係府省等が広く参加し、情報交流・共有を促進するとともに、AUV 戦略の主要要素である将来ビジョンやロードマップ等の素案について検討する。また、AUV の社会実装に向けた促進方策（共通基盤の構築、制度環境整備、官民の連携、研究開発の推進、人材育成等）について検討する。内閣府総合海洋政策推進事務局が事務局をつとめ、議長の選任を含む運営を担う。検討状況や結果については、適宜、総合海洋政策本部参与会議・PT に報告する。構成員は別紙 2 の通りである。

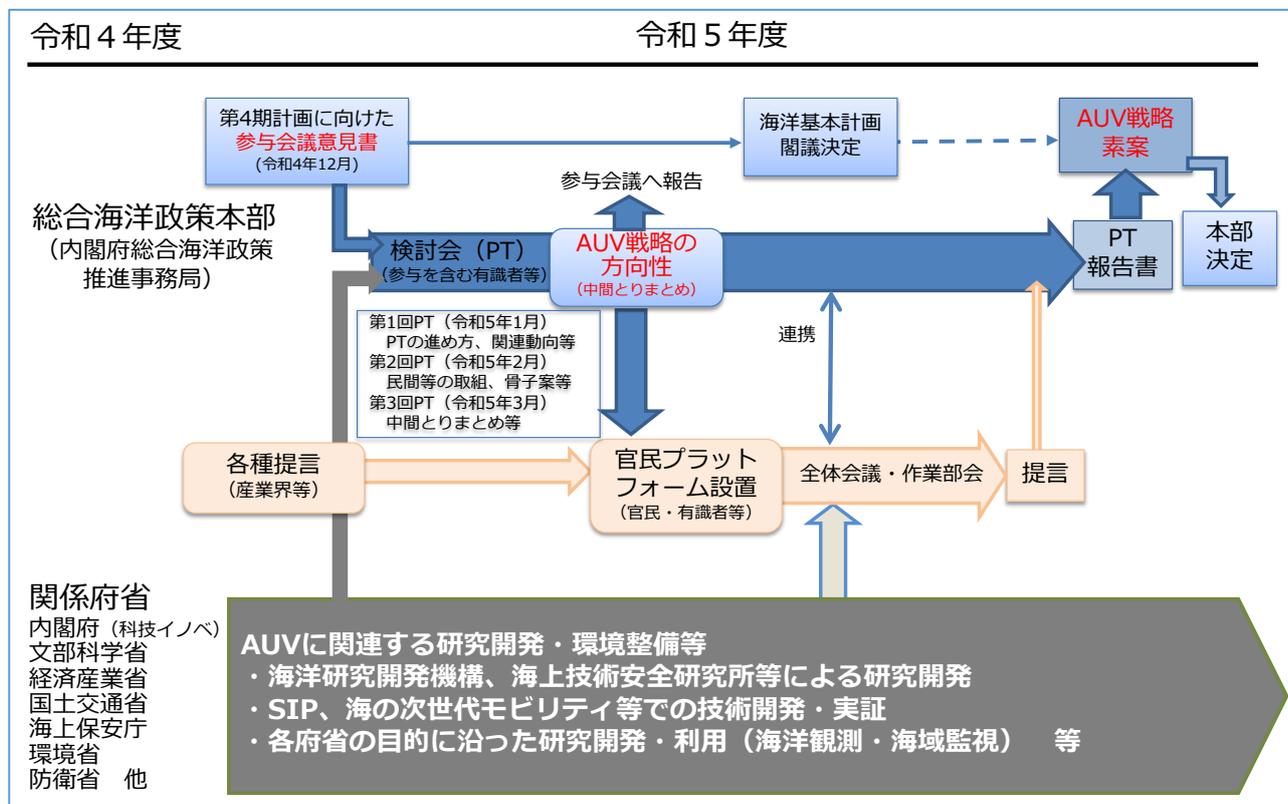
3. スケジュール

令和 5 年 5 月 24 日に第 1 回全体会議を開催し、令和 5 年度内に合計 3 回の全体会議を行い、検討結果を取りまとめる。また、別に設置する作業部会（技術部会、利用部会）にて、個別の課題に沿った検討を行う。

以上



図：官民プラットフォームの検討の流れ



参考図：AUV 戦略の検討スケジュール